

## ホンシュウジカ (*Cervus nippon centralis*) に寄生する *Sarcocystis* の分類学的検討

木本 佳那<sup>1</sup>, 松尾 史朗<sup>1,3</sup>, 青木 杏津沙<sup>1</sup>, 菊田 基<sup>2</sup>, 森田 達志<sup>1</sup>, 池 和憲<sup>1</sup>, 今井 壮一<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>日本獣医生命科学大・獣医寄生虫, <sup>2</sup>日本獣医生命科学大・獣医病理, <sup>3</sup>松尾動物病院)

**【要旨】** ホンシュウジカの *Sarcocystis* はこれまでに *S. sybillensis* および *S. wapiti* の 2 種が記載されているが, 2010 年 10 月から 2011 年 3 月にかけて兵庫県宍粟市で捕獲されたホンシュウジカの心筋から, それらとは明らかに形態の異なるサルコシストの寄生が認められた。これらのサルコシストには少なくとも外形の異なる 3 タイプが存在したが, これらについて SSU rRNA の塩基配列を比較した結果, いずれも高い相同性が見られたことから, 今回得られた外形の異なるサルコシストを作る種は同種であると考えられた。